

# エシカル消費の啓発活動事業

～消費者にできる身近なSDGsとして伝え広げる～

活動地域 三重県

ひろげる助成

3年目

実践

廃棄野菜削減量 **35%**

意識が向上した受講生の割合 **100%**

今年度計画の達成度 **80%**

全体計画の達成度 **95%**



## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

扱いにくいお米(米粉)や日持ちしない生野菜を加工し長期保存できる商品に変えるか、また、応援したい・食べたいと思ってもらえる食感・見た目になるか試行錯誤した点。

### ■ 工夫した点

廃棄野菜を地元企業様から、規格外米は地元の高校から提供いただき、地域ですでた食品ロスを地域で削減した点と、買い物を通して身近に食品ロスを考えられる商品にした点。

## 課題

①国民全体の環境問題への意識が低い、②三重県民の環境に対しての意識と自ら取り組んだり学んだりする姿勢が非常に低い、③悪化している食品ロスと働けない女性の雇用問題

## 目標

地域の消費者がSDGsやエシカル消費、食品ロス削減等具体的な行動に取り組み、持続可能な社会に地域が近づき、女性が働きやすい社会になっている状態

## 活動内容と成果

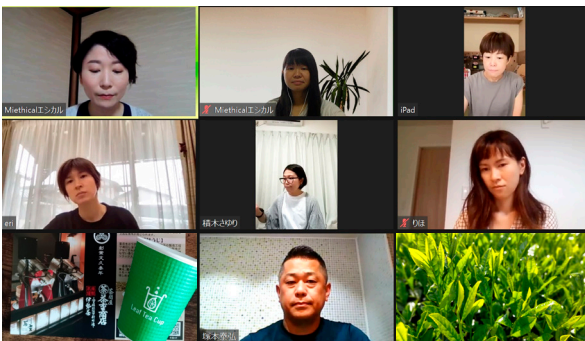
- 食品ロス削減事業  
身近な「食」が抱える社会課題の一つを消費者が知り手軽に行動してほしいと考え、食品ロス材料で開発した商品の販売。イベント出店や対面販売を通し、伝え広げた
- エシカル講座開設事業  
オンデマンド配信で連続講座を実施。エシカルという切り口から三重の環境配慮の事例を学び、自身の生活や自社の取組みを見直すきっかけ作りを実施
- エシカルな商品選択を学ぶレビュー会  
県内のエシカルな商品を、モニターと製造元がディスカッションしながらエシカル度をチェックし商品の裏側を除く事業。7回実施



オンデマンド配信型のエシカル講座事業

## 全助成期間の活動を振り返って

この3年間の事業を通して、消費者に対して「エシカルを知り日々の生活を振り返り、明日から自分にできることを考えるきっかけ」を作ることができた。意識や行動の変革は目に見えるものではないが、こうしたきっかけが明日の未来の地域を創っていくと考える。自分たちの地域を自分たちの手で守っていくために、3年間という期間で構築することができた事業の仕組みを大切に今後も育んでいきたい。



レビュー会の様子

〒515-0084  
 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階  
 電話：0598-23-8400  
 E-mail：csr@tsutaetai.jp  
 HP：https://ethical-m.jimdo.com/



## 今後の展望

SDGsやエシカルがより浸透し、生活の中で取り組む消費者が増えるように、今後も手軽に取り組める方法を伝え、持続可能な社会を想い行動できる消費者を増やしたいと考える。そのために、講座開設、商品レビュー会等を実施し、消費者が知る機会を作り、裾野を広げていきたいと考える。また、食品ロスは、意識が低かったり、提供いただくすべての廃棄野菜の活用はできていないため、そういった部分を支える取組みを構築したい。